（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	James Davis REIMER	所　属	亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構	職　名	特命准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	共通教育科目（生命の科学など）及び学部専門科目（サンゴ礁多様性保全学）を担当する。 　大学院科目（English Manuscript Preparation、Advanced Invertebrate Biologyなど）を担当する。大学院博士後期及び修士課程の学生を指導し、研究成果を国際学術誌に投稿し、論文採択を目指す。	0.25	共通教育科目（生命の科学など）及び学部専門科目（サンゴ礁多様性保全学）を担当した。 　大学院科目（English Manuscript Preparation、Advanced Invertebrate Biologyなど）を担当した。無事に、修士3人（留学生2人含めて）卒業した。
研究	0.65	現在投稿中・準備中の論文5件について受理を目指す。沖縄や太平洋におけるスナギンチャク類の調査や遺伝的変異について研究を進める。一連の研究を大学院博士課程の学生と共に行い、研究論文の採択を目指す。	0.65	2012年度で、論文18件が受理された。この中に、学生がauthorsに入っているのは10件。
社会貢献	0.05	学会活動および学術雑誌の査読を通じて、関連分野の発展に貢献する。	0.05	2012年度で、25件の論文の査読した（PLoS One, Marine Pollution Bulletin, Coral Reefs, Marine Biodiversityなど）。
管理運営	0.05	大学院学務WGやOIMAP委員会、CurriculumWGに協力する。	0.05	大学院WG及びOIMAP委員会で、協力した。特に、OIMAP留学生募集の訂正、そして大学院の新入生orientation、最終試験の発表会のsettingなどをした。
進路指導	0.00		0.00	
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	坂巻　隆史	所　属	亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構	職　名	特命准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	工学部環境建設工学科土木コースでの「水理学IIおよび演習」（30コマ）、「河川工学」（15コマ）を担当する。学生の授業評価において昨年度と同等（総合評価4・5が7～８割程度）もしくはそれ以上の評価を得られるよう、授業の質の維持・向上に努力する。	0.25	工学部環境建設工学科土木コースでの「水理学IIおよび演習」（30コマ）、「河川工学」（15コマ）を担当した。学生の授業評価において昨年度と同等（総合評価4・5が7～８割程度）の評価が得られた。
研究	0.70	最先端・次世代研究開発支援プログラム研究課題を着実に推進する。本年度中にプロジェクトの調査データ収集を完了させて、データ解析を行い、一部については論文ドラフトの作成を進めていく。また、一部データについては、国際会議等にて成果報告を行う。	0.70	最先端・次世代研究開発支援プログラム研究課題を推進した。プロジェクトの調査データ収集をほぼ完了させて、データ解析を行っている。一部については論文ドラフトの作成を進めており、一部データについては、国際会議等にて成果報告を行った。
社会貢献	0.00		0.00	
管理運営	0.00		0.00	
進路指導	0.05	本年度担当の修士2年次、および学部4年次の学生計2名について、修論・卒論指導とあわせて、本人が希望に沿った進路に進めるようアドバイス等を行う。	0.05	本年度担当の修士2年次、および学部4年次の学生計2名について、修論・卒論指導おおこなった。本人が希望に沿った進路に進めるようアドバイス等を行った。
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	木村　亮介	所　属	亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構	職　名	特命准教授

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.08	大学院医学研究科・人文科学研究科および医学部での講義・演習：学生が積極的に取り組む姿勢を促すために魅力的な内容を心がけ、また、自主的に課題をみつけさせ考えさせるような講義・演習を行う。講義・指導を通して、自身の教育能力の向上を図る。	0.10	概ね目標は達成されたが、個々の学生の学力や意欲に合わせた指導の難しさを感じた。
研究	0.90	研究テーマ：「アジア太平洋地域における人類集団のゲノム多様性研究」 研究目標：　アジア太平洋地域の人類集団の遺伝的多様性から、[1] 移住や遺伝子交流などの歴史を明らかにする。また、[2] ヒト可視的形質の個体差および集団差について解析し、それらに関与する遺伝子を同定する。特に、アジア太平洋人類集団の中での南西諸島の人々の位置づけを試み、その形質的・遺伝的特徴を究明する。 方法：　〇データおよび試料のサンプリング、〇表現型データの解析、〇遺伝子関連解析、〇集団遺伝学解析を行うことで研究を進める。 達成目標： 国際学術誌への投稿・発表：　4編以上 学会での報告発表：　日本人類学会・日本進化学会など	0.80	研究の進捗に関しては、様々な問題点にぶつかりながらも、着実に歩を進めており、ほぼ目標は達成されている。 研究成果の出版については、責任著者が自身のものが4編（内1編は投稿中）、責任著者が自身でない論文は2編であった。最低限の目標は達成された。当初予定よりも原書論文の執筆が遅れているが、下にあるように総説などの執筆の仕事が多くなったためでもある。現在執筆中の原稿の完成、投稿を迅速に進めたい。 学会での発表は、日本人類学会、日本解剖学会などで行った。
社会貢献	0.02	総説・本（分担）を執筆する。 学外での研究会へ参画する。 市民公開シンポジウムなどの活動をおこなう。	0.10	総説や本の分担の仕事が当初予定以上に多くなった（来年度掲載予定）。 学外での研究会やシンポジウムにも積極的に参画した。
管理運営	0.00		0.00	
進路指導	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	李　長春	所　属	亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構	職　名	特命助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	医学部医学科3年次寄生虫学実習指導目標：各種寄生生物の特性、ヒトへの病害性、そしてその診断・治療・疫学・予防などの諸般知識を習得させるため、標本制作、観察及びスケッチ手法を身に付けさせる。	0.10	医学部医学科3年次の寄生虫学実習指導を行い、各種寄生虫の特徴を深く理解させ、標本の制作と顕微鏡による観察方法を習得させる事ができた。更に標本観察による正確な診断、疫学調査の手法等を習得させる事ができた。
研究	0.85	マラリア原虫感染における免疫細胞の役割を動物モデルを用いて解析を行い、その結果を学会誌に発表する。	0.85	マラリア感染における免疫細胞の役割に関する研究を行い、その結果を英文原著論文として国際専門誌Cellular immunologyと Immunobiologyに発表した。更に、共同研究であるローヤルゼリーの免疫調整機能についての研究結果はPharmacometricsに発表、beta-glycosylceramideの抗腫瘍効果に関する研究結果はLipidsに発表した。研究結果は第81回日本寄生虫学会大会、BIT’s 2nd Annual World Congress of Microbes-2012等国内外の学術学会で発表を行った。外部資金として公益信託宇流麻学術研究助成金を獲得した。
社会貢献	0.05	熱帯生物圏研究センター主催の一般市民向け「市民講座」に参加し、マラリア予防知識など紹介する。	0.05	熱帯生物圏研究センター主催の「市民講座」に参加し、ポスターでの紹介、顕微鏡を利用した実物標本展示、チラシの配布等を行い、マラリアに関する知識、特に海外旅行時の注意点などを一般市民向けに紹介した。
管理運営	0.00		0.00	
進路指導	0.00		0.00	
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	浅海竜司	所　属	亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構	職　名	特命助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.25	琉球大学理学部地球物質科学科の基礎ゼミおよび洋地質学実習（学部1年次），地史学実習（学部3年次），地球環境学特論講義（院生），課題研究（学部生・院生）を担当することによって，研究者自身の教育力向上と経験を積む．	0.40	琉球大学理学部物質地球科学科の「基礎ゼミ（必，学部1年次）」，「海洋地学実習（必，学部1年次）」，「海洋地学研究法I・II（必，学部3年次）」，「地史学実習（選，学部3年次）」，「地球環境学特論I・II（選，院生）」，「海洋地学セミナーI・II（必，学部4年次）」，「卒業研究I・II（必，学部4年次）」を担当した．学部1年次から院生までの幅広い学年層を対象としたこと，また実習，講義，ゼミといった複数形態の授業を担当したことで，当初の目標以上に，教育力の向上と経験を積むことができた．
研究	0.70	炭酸塩生物（サンゴ，シャコガイ，腕足動物など）や鍾乳石を用いた太平洋熱帯～亜熱帯域における近現代～第四紀の環境解析研究を推進する．若手研究者の自立的研究環境整備促進費，科学研究費補助金を用いて実施する．	0.45	若手研究者の自立的研究環境整備促進費のほか，科学研究費補助金（若手B代表，基盤B分担）を獲得し，炭酸塩生物や鍾乳石を用いた近現代～第四紀の環境解析研究を推進した．成果として，査読付ISI国際学術論文（4編，印刷中1件含），国際学会（5件），国内学会（5件，招待講演1件含）で発表した．また，シンポジウムのコンビーナ（1件），所属部局以外との共同研究（10件）なども実施し，当初の目標を十分に達成できた．
社会貢献	0.01	日本サンゴ礁学会の評議員として会議に参加し，サンゴ礁域の生物多様性や環境保全に関する情報を発信する．	0.05	日本サンゴ礁学会の評議員として参画した．また，サンゴ化石を用いた環境解析研究に関する最新の成果（共著論文，Nature Communication，7／24掲載）について，琉球新報（8／18発行），日本地球掘削科学コンソーシアム，地球化学会HPをとおして社会へ発信した．
管理運営	0.03	亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構ならびに琉球大学理学部地球物質科学科の会議に参加し，管理運営に関して議論することによって，大学の管理運営の基本を学び経験を積む．	0.08	亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構ならびに琉球大学理学部地球物質科学科の教員会議，理学部教授会，理工学研究科（前期）委員会に参加し，管理運営に関して議論し，大学の管理運営の基本を学び経験を積んだ．
進路指導	0.01	研究室の学部4年生（3名）の意向を尊重し，就職活動・進学に関して柔軟に相談を受け，アドバイスをする．	0.02	研究室所属の学部4年生（3名）と3年生（4名）に対して定期的にコンタクトを取り，各自の意向を尊重して進路（就職活動・進学）のアドバイスをした．
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（1枚目）						
名　前	栗原晴子		所　属	亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構	職　名	特命助教
領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定		業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果	
教育	0.30	生物学の基礎的知識の学習，理解を促す授業の実施　目的意識をしっかりと持ち、自律性、積極性および国際的意識を持つ学生の教育、研究指導の実施		0.30	研究指導を行っている学生３名が国際学会にて研究の発表を行った。専門授業、大学院授業，生物学実習，ゼミなど、専門および共通教育に関わる授業を実施した。	
研究	0.60	国際雑誌への論文のと投稿　国際学会、国内学会での発表を積極的に行う　外部資金（特に科研費の取得）　所属部局外との共同研究（特に国際的な共同研究の実施）　サンゴ礁学会の評議員、広報委員の実施		0.60	今年度は国際雑誌に5本投稿し、２本は受理，３本は現在リバイス中である。４つの国際学会にて、また2回の国内学会に研究発表（一回は招待講演）を行った。また日本海洋学会より2013年に【海洋環境科学賞】の受賞をすることとなった。またJST-JICAの地球規模課題にて助成金の獲得した（中村崇代表）。またその他フィリピン沿岸環境保全、極域環境に関わるプロジェクトへと参加した。	
社会貢献	0.05	学外の各種研究会への参加　環境教育の普及		0.05	本年度のサンゴ礁学会の実行委員としての活動を行い，また広報委員としてニュースレターの発行を行った。環境教育の一環として、名古屋大学付属高校の学生向けに授業を行った。	
管理運営	0.03	大学院学務の実施		0.03	大学院学務の活動として９月修了の最終試験等を担当した	
進路指導	0.02	就職活動に関する情報提供、研究室の学生の進路相談		0.02	学部学生３名および大学院前期課程の学生２名の進路指導を行った。うち３名は無事就職が決まった。	
	0.00			0.00		
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。		1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。	

（別紙１）本シートは平成25年5月以降に学内外へ公表されますので、記載に当たっては公表されることを念頭に置いてください。

平成２４年度　教員活動における年度目標・自己点検結果シート（１枚目）

名　前	石川　千恵	所　属	亜熱帯島嶼科学超域研究推進機構	職　名	特命助教

領域	業務ウェイト比（予定）	平成24年度　年度目標設定	業務ウェイト比（実績）	平成24年度　年度末自己点検結果
教育	0.10	医学科専門教育科目「ウイルス学」及び「基礎研究」における学生指導を担当講座と協力して行う。実験指導においては事故の無いように管理するとともに、ウイルス学研究の重要性を紹介する。	0.10	「ウイルス学」及び「基礎研究」において学生指導を担当した。実験指導においては事故がなく、安全な実験環境を提供できた。なお、本年度の「基礎研究」では熱心な学生に恵まれ、期間終了後も研究を継続でき、まとまった成果を上げることができた。
研究	0.80	「亜熱帯島嶼科学研究拠点を担う若手研究者育成プログラム」における特命助教として、ヒトT細胞白血病ウイルス1型（HTLV-1）感染による白血病発症機構の解明に基づく治療法の開発に関する研究を推進させる。研究成果を関連する学術誌や学会で発表する。外部資金獲得に務める。	0.80	目標設定にある研究を推進できた。結果、関連学会で筆頭演者として2回、共同研究者として3回の研究発表を行った。筆頭著者として1編、共著者として6編の原著論文が国際的学術誌に掲載された。研究代表者として、1件、共同研究者として2件の外部資金を獲得した。学術誌からの依頼に応えて、学術論文の査読に協力した。また、テニュア取得の推薦を得られた。
社会貢献	0.10	ライジングスターシンポジウムの開催・運営へ参画し、研究者間の交流に努める。一般の人に対してもウイルス感染症の情報提供や感染予防等の啓蒙活動を行う。地域の医療機関の要請に応えて、乳幼児健診や小児救急医療に従事し、地域医療に貢献する。	0.10	ライジングスターシンポジウム「Okinawa Science Champuru: The New Stream of Multidisciplinary Research」の開催・運営を行った。地域医療機関の要請に応えて、乳幼児健診、小児救急医療に従事し、地域医療へ貢献できた。
管理運営	0.00	該当なし。	0.00	
進路指導	0.00	該当なし。	0.00	
	0.00		0.00	
計	1.00	・ウェイト比が1.00となるよう、記載してください。 ・記載量に応じて、枠は広げて使用してください。 ・診療業務に従事している者は、「領域」の空欄に「診療」として年度目標を設定してください。	1.00	・ウェイト比の実績が1.00となるよう、記載してください。